



日本医療機能評価機構認定病院
京都山城総合医療センター
 Kyoto Yamashiro General Medical Center

発行元 京都山城総合医療センター
 発行元責任者 中井 一郎

新年、明けましておめでとうございます。昨年(ひのえさる)の年で、「目に見える結実を」を目標に職員一同邁進して参りました。その結果、多くの「結実」を得ることが出来ました。平成27年度決算は無事黒字となり、6年連続の黒字計上を実現できました。昨年の診療報酬改定では、重症度、医療・看護必要度が15%から一気に25%（重症度患者さんが4人に1人以上必要）まで引き上げられました。これにより、幾多の病院で病床稼働率が極端に低下し、7・1看護基準の急性期病棟機能の変換を余儀なくされました。当院では職員横断会議などにより知恵を出し合い、必要度30%を維持し、かつ稼働率もより高くなりつつあります。このような成果から山城南地域医療構想調整会議におきましても、現状の急性期医療機能を維持・拡充の方向で京都府から指示を頂くことが出来ました。また、地域に密着した医療を展開する手段として、診療所への医師派遣や訪問看護サービスを開始致しました。

さて、本年は丁酉（ひのと）の年で、「果実が十分に完熟した状態」を意味するそうです。私どもは課題や困難を一つ一つ克服し、地域に根ざした良き病院と言って頂けるよう努力し、良き結果を勝ち取るよう考

えております。先ずは1月より宿願である常勤整形外科医を現在の1名から2名に増員できたことをお伝え致します。これからも更に増員できるように努力いたします。この4月には、昨年と同様に多くの医師・看護師ほかの職員を獲得できる予定です。「地域医療支援病院」や「基幹型臨床研修病院」という格調高き資格も獲得出来る見込みです。これらの実現により、地域の皆様により質の高い医療を提供できるものと考えております。

最後ではございますが、皆様にご持ちよく受診して頂けるよう、挨拶や言葉遣いなどの「接遇向上」に努めて参りますので、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

新年、明けましておめでとうございます。昨年(ひのえさる)の年で、「目に見える結実を」を目標に職員一同邁進して参りました。その結果、多くの「結実」を得ることが出来ました。平成27年度決算は無事黒字となり、6年連続の黒字計上を実現できました。昨年の診療報酬改定では、重症度、医療・看護必要度が15%から一気に25%（重症度患者さんが4人に1人以上必要）まで引き上げられました。これにより、幾多の病院で病床稼働率が極端に低下し、7・1看護基準の急性期病棟機能の変換を余儀なくされました。当院では職員横断会議などにより知恵を出し合い、必要度30%を維持し、かつ稼働率もより高くなりつつあります。このような成果から山城南地域医療構想調整会議におきましても、現状の急性期医療機能を維持・拡充の方向で京都府から指示を頂くことが出来ました。また、地域に密着した医療を展開する手段として、診療所への医師派遣や訪問看護サービスを開始致しました。

困難を克服し、良き結果を勝ち取る年



年頭のご挨拶

京都山城総合医療センター

院長 中井 一郎



第18回住民医療フォーラムが開催されました

平成28年10月19日(水)に、当院9階会議室におきまして、教育委員会主催の第18回住民医療フォーラムが開催されました。今回のテーマは「よくわかる！脳の病気とその治療」というもので、第一部では、京都府立医科大学から脳神経外科学教授の橋本直哉先生をお招きし特別講演を行っていただきました。橋本先生の講演は「手術で治そう脳神経疾患」という題名で、脳の働きやさまざまな脳の病気についての説明の後、脳神経外科において、どのような治療が行われるかを図やビデオを用いて、わかりやすく解説していただきました。覚醒したままで脳腫瘍の手術を行う様子など、興味深いビデオも多数提示していただき、あっという間の1時間でした。

休憩をはさんだ第2部では、橋本教授に加えて、当院の岩本一秀神経内科部長、岩本芳浩脳神経外科部長をパネラーとし、「脳の病気の予防と治療」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。また、住民のみなさんからのテーマに沿った質問にも直接答えていただきました。脳の病気にならないためにはどのような事に気をつけたら良いのか、具体的な症状に対してどう対処したらよいのかなど、多数の質問が寄せられ、予定していた時間をオーバーしてしまいました。

会の終了後に回収したアンケートでは、「とてもわかりやすく、時間があっという間でした。手術の様子が見られて新鮮でした。」「脳の機能がよくわかりました。」「質問が多かったので、もう少し時間をとってほしかった。」など、たくさんの意見が寄せられました。

今回のフォーラムは、135名の参加者があり、当初用意した椅子が足りなくなるほどの盛況でした。今後も地域住民のみなさまに関心の高いテーマを選択し、年2回のペースで、このフォーラムを続けていく予定ですので、ご協力の程よろしくお願いたします。次の開催は、平成29年5月25日を予定しております。詳しい内容が決まりましたら、広報などを通じてお知らせする予定です。

副院長 石原 潔



山城医療センターの 診療得意技

当院は様々な得意技を持っており、それらの中から今回は、神経内科、泌尿器科、放射線科、眼科の得意技をご紹介します。

神経内科の得意技



副院長
神経内科部長
岩本 一秀

■脳卒中診療など■

現在神経内科常勤医師は2名です。常勤医師により、外来診療と入院診療を受け持っております。また、非常勤医師3名(京都府立医科大学神経内科学教室より)にて外来(月曜日、火曜日、金曜日)の支援を受けています。

地域の中核となる総合病院の神経内科に求められていることは、コモンディーズ(しびれ、頭痛、脳卒中、パーキンソン病、てんかんなど)に対応することが第一と考え診療しています。また、今まさに最大のコモンディーズとなりつつある認知症については、認知症疾患医療センター機能である、かかりつけ医からご紹介いただいた認知症患者さんの鑑別診断、行動心理症状に対する治療にあたっています。

また、ボツリヌス療法についても、経験を積んでおり、眼瞼痙攣、片側顔面けいれん、痙攣性斜頸、特発性腋窩多汗症、上肢・下肢の痙攣に対して、主に外来にて治療を行っています。

入院診療の中心となる疾患は、脳梗塞です。年間約100例の脳梗塞症例に対して、急性期の治療(当院脳神経外科との連携にてrtPAによる血栓溶解療法やそのほかの抗凝固、抗血小板療法)およびリハビリテーションを行っています。当院には回復期リハビリテーション病棟があり、症例は限られますが、当院から自宅退院を目指して、8階病棟の地域包括ケア病棟に転棟の上、リハビリテーションを継続していただくという治療コースもとることができます。

脳梗塞の診療にあたって私どもが最も意識していることは、患者さんご本人とご家族のニーズと介護力に合わせた最適なと思われる方針を立て、スタッフ全員でその実現を目指すことです。院内の医師、看護師、リハビリテーション担当者、ソーシャルワーカーのみならず、地域の先生方、ケアマネジャー、訪問看護ステーションや居宅介護事業者の方々とも顔の見える連携にて、入院から外来までのシームレスな医療・介護を提供させていただきます。

泌尿器科の得意技



泌尿器科部長
松原 弘樹

■内視鏡手術■

以前より泌尿器科は経尿道的手術を行っており、膀胱がんや前立腺肥大症などは内視鏡で行うことが一般的になっています。最近ではより安全に行うことができるようになり、当院でもその機械を導入して行っております。

また、尿管結石や腎結石などの結石の治療に関しても当院では軟性尿管鏡とレーザー碎石機を導入し、尿管結石だけではなく腎結石も経尿道的に行うことができ、より安全に、入院期間も短く行うことができるようになりました。

■腹腔鏡手術■

従来の開腹手術のように大きな傷をつけて行う手術とは異なり、1〜2cm程度の小切開を3〜5箇所開け、腹腔内に炭酸ガスを注入し、内視鏡下に細い手術器械を用いて、臓器の摘出や再建などを行う手術です。前立腺、腎臓、副腎など泌尿器科で手術を行う臓器は、腹膜の後方(後腹膜腔)にあります。腹腔内にスペースを作り、内視鏡を入れ、行う手術を後腹膜鏡手術とよんでいます。泌尿器科で手術する臓器は、上述したように後腹膜腔にあるため、腹腔鏡で行う場合と、後腹膜鏡で行う場合があり、それぞれの場合にに応じて方法を選択します。

いずれにしても、泌尿器内視鏡学会の定める腹腔鏡技術認定医の資格を持つ医師が手術を行い、腎臓や副腎の摘出などを行っております。

また、最近ではロボット支援手術(ダヴィンチ手術)も泌尿器科領域の手術(前立腺全摘除術と腎部分切除術)では保険適応となっております。ダヴィンチ手術をご希望の患者さんには、京都府立医科大学への紹介をさせていただきます。今後より安全・確実に低侵襲な手術を患者さんに提供してまいります。

放射線科の得意技



副院長
放射線科部長
石原 潔

■3名の専門医による診断とIVR■

当科は、CT・MRI・各種X線検査の施行と診断レポートの作成を行う画像診断部門、血管造影装置やCT装置を利用して治療や組織診断を行うIVR(アイ・ブイ・アール)部門を担当しています。

画像診断部門における当科の特徴は、3名の放射線診断専門医を含む4名の常勤医が在籍している事で、幅広い症例への対応が可能となっています。診断に迷うような難しい症例では複数名で協議を行い、より質の高い診断レポートを作成する心がけています。

特に当科で力を入れているのは心臓CTです。日本で心臓CTが本格的に撮影されるようになったのは10数年前からですが、その当初から積極的に心臓CTの撮影を行い、豊富な経験を有しています。心臓CT検査は特殊な技術が要求されるため、完全予約性で施行している病院も多いのですが、当科では可能なかぎり緊急検査にも対応し、循環器内科医による治療が円滑に行えるようサポートしています。

IVR部門における診療は広範囲で、カテーテルの挿入、カテーテルを用いた癌治療、血管形成、止血、膿の排出、腫瘍の組織診断などが含まれます。当科では、常勤のIVR学会専門医が、全症例を担当しており、質の高い診療が可能です。また、緊急症例にも対応しています。

眼科の得意技



眼科部長
菌村 有紀子

＝加齢に伴う疾患の治療＝

眼科でも加齢に伴いさまざまな疾患が増加してきます。眼の疾患の80%は加齢に関係するといわれ、高齢化社会に伴い多くの人がいずれかの疾患と付き合いつながりながら生活していくことになってきています。

眼の中のレンズにあたる水晶体が混濁する白内障は主に加齢により生じ、だれにでも起こりうる疾患です。基本的には視力低下した場合、治療は手術になります。よく知られている疾患だと思えますが、今でも見にくくなっても診察を受けておられず、かなり進行している場合があります。放置して混濁が進むと手術が困難になる場合がありますので気になる場合は早めに受診してください。

目の奥の視神経が傷んで、見える範囲が狭くなる緑内障という病気が加齢により増加します。視神経が障害されて欠けた視野は戻らず、進行しにくいように治療する必要がありますので、一度は検診を受けるようにしてください。

生活習慣病である糖尿病は以前より増加しています。合併症である糖尿病網膜症は糖尿病にかかっている期間が長く、血糖コントロールが不良であるほど生じやすいといわれています。初期には自覚症状がないことが多く、進行すると視力低下し戻ることができません。糖尿病にかかっている人は定期的に眼科受診してください。

また加齢により涙の分泌は減少し、目が乾きやすくなりドライアイにかたむいてきます。瞼の皮膚が弛緩したり、瞼が下がる眼瞼下垂や内むきになりまつ毛が当たる内反症がみられることも多くなります。いずれも症状が強い場合は治療が必要となり、ドライアイについては点眼治療、眼瞼については手術となります。

これらの疾患のいずれにも対応しますので、まずは外来を受診してください。はじめての場合は午前中の外来を予約外で受診していただくか、かかりつけ医に地域連携をとおして予約してもらってください。疾患が進行している場合は特別な手術や治療を必要とする場合もありますので、その場合は主に京都府立医大と連携して治療を進めます。

当院における
訪問看護への
取り組み



訪問看護とは、看護師が本人の意思、ライフスタイルを尊重し、住み慣れた自宅を訪問し、療養生活を送っている方の看護を行うサービスです。6月から当院でも入院患者の退院前訪問・退院後訪問を始めました。今の所、医療依存度の高い小児科患者、終末期のがん患者、認定看護師による専門的治療の必要な方等要請が高いものから開始しています。訪問する時間は、平日の9:00～16:30 1人60分程度で、利用料は介護保険、医療保険、福祉等の負担割合によって異なります。例えば、週1回で1割負担の場合、医療・介護保険共、月4250円程度になります。患者さんは、「家に帰りたい」と思っている、家族としては不安で大丈夫かなと思う時は、退院前に外出や外泊を行い、訪問看護を利用することもできます。当院の訪問看護師は院内の部署であり、入院中から外来や病棟の看護師と連携を図り、退院支援に早期から関わることができるのが強みです。これからも在宅療養患者を支えるため院内外、地域の関係者の皆様と連携を図り支援していきます。

興味を持たれた方は、1階地域医療連携室にお問い合わせ下さい。

看護部 竹内 芳子

リハビリ難病講演会

10月13日(木)に山城南保健所主催の平成28年度難病リハビリ講演会が開催されました。対象は軽度～中等度のパーキンソン病の方・家族、在宅サービスに関わるケアマネージャー、相談員、介護職等です。参加者は当事者・家族：18名、その他：17名でした。

テーマである長く自立した生活を送るためのポイントについてそれぞれの専門職が講演しました。副院長・岩本一秀先生：「Parkinson病と上手につき合おう」、パーキンソン病の一般的な知識～薬物療法等の治療法について。作業療法士・小野：「パーキンソン病と住まい方～住環境整備～」、住環境整備を行う事によって自立生活を送りやすくするポイントについて。言語聴覚士・草野：「Parkinson病～嚥下障害～」、嚥下のメカニズムから在宅で出来る嚥下障害に対する対応方法について。理学療法士・岡村：「パーキンソン病の運動療法について」、重症度別にリハビリの方法、日常生活での運動障害にたいする対応方法について講演しました。参加者の皆さんは熱心に聴講され、アンケート結果等からも日常に役に立つ興味深い内容であったと好評でした。来年度も保健所の方と協力してより多くの方に役立ち喜ばれる講演会を企画したいと考えています。

リハビリテーション科 岡村孝文



平成28年度山城南医療圏における 災害医療訓練を実施して

大規模な災害が発生した場合、山城南医療圏で一人でも多くの「防ぎえた災害死」を回避するためには、行政・医療・福祉などが一致協力して一刻も早く災害に対する初期医療体制を構築する必要があります。毎年、院内では机上訓練や模擬訓練を行ってまいりましたが、山城南医療圏全体で訓練を行ったことはありませんでした。そこで、まず11月22日に山城南災害医療連携協議会を設置し、この地域の災害医療関係機関が相互に連携を図り、効率的で的確な医療救護活動が実施できる体制を確保いたしました。構成機関は山城広域振興局（山城南保健所）、山城南医療圏の各市町村、消防、警察、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、介護福祉専門員会、医療圏内の三病院です。これをふまえ、12月3日に当院で平成28年度山城南医療圏災害医療訓練を実施いたしました。当日は計140名の参加により、大規模な直下型地震が発生した想定で、模擬患者30名をみたてて訓練を行いました。各機関における災害発生時の初動を互いの連携を図りながら行うことで、個々の訓練では見えてこなかった課題が浮き彫りとなりました。実際に被災した際、初動で躓かないために今後継続的に訓練を行い、この地域での強固な災害医療体制を作って行きたいと思っております。



災害対策委員長
佐々木康成



介護老人保健施設 やましろ

平成28年10月、介護老人保健施設やましろは、『きょうと福祉人材認証制度』の認証事業所として登録されました。

この制度は、「若者がなかなか福祉の世界を選ばない、定着しない」といった状況を改善するため、京都府が全国に先駆けて創設した制度です。福祉業界が若者にとって安心して就職できる場所となるように、京都府が4分野17項目の認証基準を定め、それをすべてクリアした事業所を、「人材の育成・定着に取り組む」事業所として認証しています。認証事業所は、『きょうと福祉人材認証制度』のホームページに掲載され、各事業所の人材育成に関する取り組みや、若手職員からのメッセージ等が紹介されています。

福祉の仕事がしたいけれど、少し不安がある...という思いのある方は、インターネットの『kyoto294.net』の認証事業所検索で検索してみてください。また、老健やましろでの仕事に興味がある方は、見学だけでも結構ですので、当施設にお気軽にお問い合わせください。

介護老人保健施設やましろ
(0774) 73-0359



登録医 当院では、地域のかかりつけ医との連携診療を進めています。
紹介 「登録医」制度にご協力頂いている地域の医療機関を順番にご紹介させていただきます。

【小出医院】 (木津川市)
診療科：内科 (糖尿病)
院長：小出 操子 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:30	○	○	○	×	○	○	×
18:00~19:30	○	×	○	×	○	×	×

休診日：火曜午後、木曜、土曜午後、日曜、祝日

先生から一言：木津川市兜台で内科医院を開いて28年になります。糖尿病・生活習慣病を主体に診察しておりますが専門にかかわらず地域の皆様のお役に立ちたいと気軽にご相談いただけるように心がけております。栄養指導も行っております。待ち時間の短縮のために慢性疾患の方には予約診療をいたしておりますが初めてのの方は随時おいでください。

所在地
〒619-0224 京都府木津川市兜台7丁目5-9
TEL：(0774) 72-9090

【林こころのクリニック】 (木津川市)
診療科：精神科・心療内科
院長：林 竜也 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	×	○	○	×
15:00~18:00	○	○	○	×	○	×	×

休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日
※クリニックは予約制です。初診の方はお電話にてご予約ください。
※土曜日は再診のみの受付となります。
※初診の方は平日のみの受付となります。

先生から一言：地域の皆様に信頼して頂けるようなメンタルクリニックを目指し、一生懸命皆様のメンタルケアのサポートをさせていただきます。

所在地 〒619-0214 京都府木津川市木津駅前一丁目23番地 (フロント木津2階)
TEL：(0774) 75-2777

【岸田内科医院】 (相楽郡精華町)
診療科：内科・老年内科・消化器内科
院長：岸田 秀樹 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
16:00~19:00	○	○	×	○	○	×	×

休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

先生から一言：患者さんを第一に考えて診察しております。専門外のことも、困った事があれば何でも相談して下さい。又、往診もしております。

所在地
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台2-17-10
TEL：(0774) 95-1771

地域の中核病院で一緒に働きませんか
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.yamashiro-hp.jp/>

看護師 ●中途採用者

待遇 ○地方公務員に準ずる
○期末勤勉手当 年2回 (6月、12月)
○定期昇給 年1回

看護アシスタント

待遇 ○臨時職員
○時間給 900円~

お気軽にお電話ください TEL0774-72-0235 (看護部もしくは事務局まで)